

能楽にふれよう

前橋文学館では夏休み子ども応援キャンペーン事業として、能楽に親しむ講座を開催いたします。日頃接する機会の少ない能について楽器や謡の体験を通して子どもたちにわかりやすく学んでいただく講座です。ふるってご参加ください。

萩原朔太郎と能

昭和6年、知人に誘われて見た能に朔太郎は取り憑かれます。若いころは西洋にあこがれ、和服が一般的だった時代にいつも洋服を着ていましたが、晩年にはすっかり変わり能に行くときも羽織袴で出かけました。知り合いを誘うときはチケットを用意し、前もって見どころを解説しました。そして必ず洋装か羽織袴で来るよう注意しました。

能ってな～に？

約640年前、室町時代から続く伝統芸能。
歌(謡)と踊り(舞)の元祖ミュージカル。
楽団(囃子)とコーラス(地謡)も付いてます♪
主人公は亡霊。鬼やヌエも出てくる。
2001年ユネスコ無形遺産に登録され、今や
日本人より外国人のほうがよく知っている。

能を体験しよう！

おもて
面をつけて歩いてみましょう。
どんなふうに見えるかな？
楽器も体験。小鼓、大鼓、太鼓に笛
うまく音が出るかな？

- ◇日時 平成27年7月19日(日)午後1時30分～午後3時30分
- ◇会場 水と緑と詩のまち前橋文学館 3階ホール
- ◇内容 能についてのお話と能面や楽器の体験コーナー、謡の練習をします。
午後1時より「小鍛冶」の上映をします。
- ◇講師 前橋宝生会のみなさん
- ◇定員 小学4年生から中学3年生まで 20名(保護者の観覧も歓迎します)
- ◇申込 7月11日午後1時から 電話で申し込んでください。
027-235-8011 前橋文学館

定員になり次第メ切ります。

萩原朔太郎記念・水と緑と詩のまち

前橋文学館

〒371-0022 群馬県前橋市千代田町三丁目 12-10
TEL.027-235-8011 FAX.027-235-8512
<http://www15.wind.ne.jp/~mae-bun/>

